

4 教職員の人権感覚のチェックポイントについて

(1) 人権が尊重される授業づくり

人権教育の推進にあたり、日々の授業における活動の一つ一つが、人権尊重の雰囲気醸成の上での重要な要素となります。

以下に示すのは、人権教育の視点に立った授業づくりの工夫を進めていく際の主なチェックポイントの例です。

○自己存在感をもたせる支援の工夫

項目	
①結果にこだわらず、児童生徒の思考過程や学習過程を認めていますか。	
②意図的な指名等、一人一人が活躍する場や課題を工夫していますか。	
③互いの発言を最後まで聞いたり、結果だけでなく過程を大切にしたりする習慣が大切であることを、児童生徒に伝えていますか。	
④一人一人の名前を呼び、目を見て話し、話をよく聞いていますか。	
⑤発言しない児童生徒に声を掛けるなど配慮するとともに、他に活躍の場を設けるなど適切な支援を行っていますか。	

○共感的人間関係を育成する支援の工夫

項目	
⑥「誰にでも失敗はある」「誰もがよさや弱さをもっている」という認識に立って、互いを尊重し合う人間関係づくりを意識的に行っていますか。	
⑦一人一人が、自由に発言できる雰囲気づくりを行っていますか。	
⑧他者の発言や作品のよさに気づき、学ぼうとする態度が大切であることを、児童生徒に伝えていますか。	
⑨自分と異なる考えや意見を受け止め、理解する技能を身に付けられるように工夫していますか。	
⑩互いの役割や責任を認め合う態度を身に付けられるように工夫していますか。	

○自己選択・決定の場を設定する工夫

項目	
⑪複数の学習課題の中から、自分に合った課題を選択できる機会を設定していますか。	

⑫自分の習熟の度合いや興味・関心に基づいて、教材・教具を選択できる機会を設定していますか。	
⑬課題解決のための情報や資料を準備し、その活用方法について助言するなど、学習方法を選択できる機会を設定していますか。	
⑭児童生徒の実態を踏まえて多様な表現方法を提示し、児童生徒が表現方法を選択できる機会を設定していますか。	
⑮自他の学習課題やまとめ方等を振り返って対話する時間を設定し、今後の学習課題やまとめ方等について、選択・決定できる機会を設定していますか。	

(2) 人権が尊重される環境づくり

人権尊重の精神に立つ学校づくりは、学校における教育活動全体を通じて進めていくべきものであり、そのための取組は、授業づくりとともに、人権が尊重される「環境づくり」として、推進していく必要があります。

次に示すのは、人権教育の視点に立った環境づくりの工夫を進めていく際の主なチェックポイントの例です。

項 目	
①「今月の誕生日」「私の好きな言葉」「本や音楽の紹介」等のコーナーを設けるなど、相互理解や交流を深める工夫を行っていますか。	
②「気持ちを表す言葉」「聞き方・話し方のスキル」等の掲示物を示すなど、コミュニケーションを円滑にするための手がかりを示す工夫を行っていますか。	
③学習の成果物（作品等）を掲示する際、児童生徒自身の解説や評価（自己評価、他者評価）、教師の評価を添えるなど、達成感や有用感が高まる工夫を行っていますか。	
④児童生徒に話題を提供したり、問題意識を喚起するような情報を意図的に掲示したりするなど、問題意識を高める場づくりを工夫していますか。	
⑤児童生徒が集めた情報の中から、喜びや感動、疑問や怒りを感じたことを、級友に知らせるコーナーを設置したり、帰りの会で発表させたりするなど、発見の喜びを味わえる場づくりを工夫していますか。	
⑥児童生徒が共同作業できる広めの机を設置したり、筆記具・文房具を常備したりして、自発的・創造的な協働作業を促すなど、創造する喜びを味わえる場づくりを工夫していますか。	

※このチェックリストは、文部科学省 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕～実践編～」を参考に作成しました。